

桃園小学校・向台小学校統合委員会 要点記録

第10回

開催日時	平成30年2月1日(木) 午後6時30分～8時15分	
開催場所	弥生区民活動センター 洋室3、4号	
出席者	委員	金田一榮、小平一位、川本豊、加藤洋右、大石直臣、吉田昌平、大島由美子、越坂部千明、瀧本和江、木下克美、清水好博、岩本昌夫、阿部正幸、奥愛、田中憲治、中村明子、松久保雅和、板垣淑子（敬称略、順不同）
	事務局	学校再編担当
会議次第	【報告】 1 桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の基本設計について 【議事】 1 統合新校の校名について 2 統合新校の校章・校歌の制作方法等について 3 その他	

第10回 桃園小学校・向台小学校統合委員会 会議要旨

委員長

定刻となったため、これより第10回学校統合委員会を開会する。本日、傍聴者がいるため、許可を諮りたい。

—異議なし—

委員長

傍聴者は、傍聴券の裏側に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないように願います。それでは、議事に入る前に報告事項がある。（1）桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の基本設計について、事務局の説明を求める。

1 報告

報告（1）桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の基本設計について

■資料「桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等整備基本設計について」について、事務局から説明

※詳細は、中野区教育委員会ホームページ「桃園小学校・向台小学校統合新校校舎等の整備について」を参照。<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/655000/d023716.html>

委員長

今、説明のあった内容について意見・質問等あるか。

委員

両校の記念樹等が校庭にあると思うが、それらを新校舎に移植することは考えているのか。

事務局

移植については考えていない。

委員長

この設計で進めると、桃園小学校校庭にある大きなクスの木はどうなるのか。

事務局

この設計では伐採することになる。残せる木はできるだけ残すが、新校舎建設にあたり支障となる木は伐採するという方向で進めている。

委員長

他に質問等あるか。ないようであれば、議事(1)の統合新校の校名について、事務局の説明を求める。

1 議 事

議事(1) 統合新校の校名について

■前回統合委員会において、第10回では委員が良いと思う校名をひとつ決めて投票すると決定した。今回、開会前に以下の校名候補について投票を行った。

朝日	中野第一	桃園	桃園台	桃園第一
桃園向台	桃台	ももの台	桃ノ台	桃の台

事務局

投票結果を説明する。朝日3票、中野第一3票、桃園1票、桃園第一1票、桃園向台3票、桃台3票、桃ノ台1票、桃の台2票の合計17票である。欠席の方から連絡のあった1票も含んでいる。

委員長

投票結果を発表してもらった。本日の投票で票が入らなかった「桃園台」と「ももの台」は削除したいが如何か。

一異議なし

委員長

投票結果を見て、意見を変更したいという方はいるか。票を集約していきたい。

委 員

「桃園第一」から「中野第一」に変更したい。

委員長

では、「桃園第一」がゼロ票になり、「中野第一」が4票となった。「桃園第一」は削除したいが如何か。

一異議なし

委 員

「桃ノ台」に入れた。片仮名の「ノ」が、字面も「桃」と「台」をつないでいるような感じに見えてとても良いと思っていた。ただ、両校に関係のない新しい名前も良いと思っていたので、「桃ノ台」から「朝日」に変更したい。

委員長

では、「桃ノ台」がゼロ票になり、「朝日」が4票となった。「桃ノ台」を削除したいが如何か。

一異議なし

委 員

「桃の台」に入れたが、「桃台」に変更したい。

委 員

同じく「桃の台」から「桃台」に変更したい。

委員長

では、「桃の台」がゼロ票になり、「桃台」が5票となった。「桃の台」を削除したいが如何か。

一異議なし

委員

「桃園」に入れた。もう少し票が入ると思っていたので驚いている。「桃園」が無理なのであれば、「中野第一」に変更したい。

委員長

では、「桃園」がゼロ票になり、「中野第一」が5票となった。「桃園」も削除したいが如何か。一異議なし

委員長

ここまでの票数をまとめる。朝日4票、中野第一5票、桃園向台3票、桃台5票の四つとなった。他に意見等あるか。

委員

所属する町会では、現在の校名に関係するものは良くないという意見が圧倒的に多い。新しい学校なので新しい名前をつけたい。

委員

前回の協議では「桃」という字をつけたくないという意見もあった。

委員

「桃園向台」が残っているが、校名としては長いのではないか。

委員

「桃園第二」や「中野本郷」など四文字の小学校もある。

委員

文字数だけでなく、読みにくいと思う。また、「桃園向台」では、向台小学校が桃園小学校に吸収されたと感じてしまう。

委員

前回も出た意見だが、そのような意見が出るのであれば、現在の校名は入れない方が良い。

委員

「桃園向台」に入れた。両校が均等に入っているということが良いと思った。順番が先だということでは優劣があるということではない。設立順で納得できないか。

委員長

他の方にも意見を聞いていきたい。まだ発言していない人を順番に指名する。

委員

新しい学校なので、全く新しい校名が良いと思う。

委員

中野の一番古い小学校という意味で「中野第一」が良いと思う。「桃台」は響きも良いと思うが、「ももだい」と読み間違えられるのではと心配である。

委員

「朝日」が良いと思う。前回の協議でも述べたが、現在の校名が残っていることで子どもたちのトラブルの引き金になってしまうのではという心配の声が多くの保護者から寄せられている。

委員

「朝日」が良いと思う。まず「桃園」や「桃」が付く校名を選ばなかった理由を述べたい。桃園という言葉が中野区にとって大事な言葉であるという意見があったが、統合新校の校名でなく他の形で桃園を残せないか。校名では桃園第二小学校があり、中野五差路近くに桃園橋もある。そのほかにも、桃園区民活動センター、桃園会館があり、桃園という言葉だけで見ればまだ多く残っていると言える。中野区・杉並区で一番歴史のある桃園小学校として残したいという意見については、歴史は語り続けてこそ残るものであって、校名に入れば歴史が伝えられるということではないと思う。また、向台小学校の児童の気持ちの面では、桃園や桃が先に付くということに対して、複雑な思いを持つと思う。大人にとっては何ともないことでも、子どもたちにとっては大きい問題に発展する可能性もある。特に、統合直後の児童のことを考えたときに、桃園や向台という名前を残すことが良いとは思えない。

続いて、「中野第一」を選ばなかった理由を述べる。「第一」の理由が、中野区で最初にできた小学校だからというのがあったが、これでは桃園小学校のイメージの偏った校名になってしまう。また、ナンバーワンを目指していく意味も含めて「中野第一」にしたらどうかという意見もあったが、ナンバーワンも大事だが、子どもには一人一人がかけがえのないオンリーワンだということを知ってほしい。

最後に、校名について何回も協議しているが学校に通うのはあくまでも子どもたちである。新校には、両校の子どもたちにとって偏りのない校名にしたい。

委員

新しい校名が良いという委員の意見も良く分かる。ただ、校名やそのイメージは一度変えてしまうとその歴史もなくなってしまうと思う。中野区・杉並区で一番古い桃園小学校の歴史を大事にしたい。それには、「桃園向台」か「中野第一」が良いのではと思う。

委員

「桃園向台」に投票した。どちらの校名が先か後かということで子どもたちが揉めるというような意見もあったが、桃園小学校の関係者からするとどちらが先でも構わない。「向台桃園」でも良い。そもそも、校名を募集する時に条件をつけずに決定したので、桃園小学校の関係者は「桃園」を残したいと言いつづけていた。反対に、「向台」を残すという意見は少なかったと思う。加えて、「桃園」を残したくないといった意見が多かったのが残念であった。

委員

その校名に決定したという理由を、きちんと児童や地域の方に説明して納得してもらえればどの校名になっても良いと思う。ただ、町会では卒業生が多くいるため、全く違う校名になると寂しいという意見もある。「朝日」はイメージも良いので、校歌の中に入れるというのも一つの手だと思う。

委員

これから作りあげていく新しい学校という意味で、現在の校名は入っていない方が良い。ただ、これまで委員の発言を聞いても間違った意見の方は誰もいない。落とすところをどこにするかが難しいと思う。

委員

「桃園向台」に投票した。これまでの議論を踏まえた上で、英語の名前「MUKODAI—MOMOZONO Elementary School」を提案したい。向台小学校には外国籍の児童が多く、国際理解に力を入れている学校だからである。また、桃園橋や桃園区民活動センター等があり、名前が残るという意見もあったが、地域のシンボルとなる学校に名前を残しておくことが重要である。

委員

地域の方の意見を尊重したい。ただ、「桃」と「台」がつかないものとして最初から協議していれば、「朝日」以外の候補が出たのかもしれないと思う。白桜小学校の例では、新しい校名についても子どもたちはすぐ受け入れてくれた。また学区も広がるため、地域の方の思いがあるとしても、数年経てばその学校のイメージが浸透すると思う。

委員

どの校名に決まっても、学校としてはいろいろな場面で子どもたちに誇りを持たせていく。

また、先ほど向台小学校に外国籍の児童が多いという意見があったが、他の学校と比べて特別多いわけではないため確認させてもらいたい。

委員

先ほど「桃ノ台」から「朝日」に意見を変更した。この二つで今日までずっと悩んでいた。校名は大事なものであるが、思い入れをしっかりと持って、子どもたちにきちんと伝えられるようにしなければならないと思う。

委員

最初から、両方とも名前を残すということで「桃台」が良いと考えていた。両校とも長い歴史

があるし、私自身も向台小学校の卒業生である。お互いに歩み合って、良い校名を選んでいきたい。決まった後は、皆でその新しい学校を応援して、これからの歴史に残せればと思う。

委員

委員が様々な団体の代表者として意見を出してくれているのが良く分かる。個人的には、やはり桃と台とつかないほうが良いと思い、「中野第一」を推している。

委員長

これで全員から意見を聞いた。これからまた検討方法について協議したい。何か意見等はあるか。

委員

「中野第一」の「第一」の理由が、最初にできた学校だからということになると、桃園小学校のイメージになってしまうが向台小学校の方は本当にこれで良いのか。単に「桃」に反対していただけなのか。両校に配慮するというのであれば、「桃園向台」から「桃台」に変更したい。

委員長

では、「桃園向台」が2票、「桃台」が6票になった。

委員

「第一」という意味は、最初に出来た学校だからというだけでなく色々と考えられると思う。

委員

「中野第一」は、中野で一番という意味が強いと思う。ローカルで一番を目指すのではなく、現在のグローバル社会にふさわしく世界で活躍してほしい。

委員

ナンバーワンを目指すのではなくて、オンリーワンを目指してほしいという意見もあった。

事務局

遅れて参加された方がいる。投票してもらいたい。

委員

「中野第一」に入れたい。

委員長

では、「中野第一」が6票になった。

委員

「桃園向台」としていたが、「桃台」に変更にしたい。

委員

「中野第一」であったが、「桃台」に変更したい。

委員長

では、桃園向台1票、中野第一5票、桃台9票となった。また整理するが、現在四つ残っており朝日4票、中野第一5票、桃園向台1票、桃台8票となっている。

委員

「桃台」のような、合わせて二で割っただけの校名ではつまらない。

委員

事実として桃園小学校と向台小学校が統合するので良いと思う。語呂も良いし、言いやすい。

委員

一番多いところで、「桃台」で決定ではないか。

委員

内訳を見ると、「桃」と「台」を入れる「桃台」と入れない「朝日」・「中野第一」で9票ずつに分かれている。決定するにはまだ早いと思う。

委員長

それでは、残る四つの候補で再投票したいが如何か。

—異議なし—

事務局

投票の結果、朝日5票、中野第一6票、桃台6票となった。「桃園向台」はゼロ票であった。

委員長

では、「桃園向台」は削除したいが如何か。

—異議なし—

委員

6票で同票となった「中野第一」と「桃台」で最終投票して決めるのはどうか。

委員長

そのような意見があるが如何か。

—異議なし—

事務局

最終投票の結果、中野第一 11 票、桃台 6 票となった。

委員長

それでは、「中野第一」に決定したいが如何か。

—拍手で承認—

事務局

校名決定までの今後の流れについて説明する。2月中旬に統合委員会を代表して委員長と副委員長から、本日取りまとめた校名候補について教育委員会へ報告を行ってもらう。報告後、平成30年6月に開催予定の区議会第2回定例会に条例改正議案を上程し、議決が行われたのち正式に決定となる。それまではニュース等でも「(仮称)中野区立中野第一小学校」と表記する。また、次号の統合委員会ニュースで、校名候補が決定したことについて公表する予定である。

委員長

良い校名に決まった。委員の方々にお礼申し上げます。それでは、続いて議事(2)統合新校の校章・校歌の制作方法について、事務局の説明を求める。

議事(2) 統合新校の校章・校歌の制作方法について

■資料「統合新校の校章の制作方法について」事務局からの説明

1 統合新校の校章の制作方法について

① 校章の図案を募集する場合

募集範囲

A 校名募集時と同様の対象とする

桃園小学校・向台小学校の児童・保護者、教職員、地域住民(地域の保育園・幼稚園の保護者、町会)

B 学校関係者のみを対象とする

桃園小学校・向台小学校の児童・保護者、教職員

・応募のあった校章の図案の中から数点選び、専門家に依頼してデザイン化(手書きから製図)を行う。

・デザイン化したものから統合委員会で協議して選ぶ。

② 校章の図案を募集しない場合

A 統合委員会で校章の図案を決め、専門家にデザイン化を依頼

B すべて専門家に依頼

・デザイン化したものを数点提案してもらい、統合委員会で協議して決定する。

2 検討スケジュール(案)

2月: 検討方法の協議

4月: 募集手続き(校章の図案を募集する場合)

4月6日(金)チラシ配布~5月8日(火)までを予定

5月: 図案の協議

11月: 校章決定、校旗の検討

(参考：両校の校章)

桃園小学校 校章	向台小学校 校章
	
<p>【校章のゆらい】 大正の初め頃、藤枝松世先生が作られたものです。校章の旭日は「太陽を表し、心正しい人になれ」と、雪の輪は「雪は白く美しく光にかがやき、明るくなります。昔、雪のあかりで勉強したという人の話から、勉強に励む人になれ」と、中央の桃の実は、「桃太郎のようにたくましい体をつくれ」と願って作られたとのことです。</p>	<p>【校章のゆらい】 まわりの矢羽根は、かつての中野町の紋章「雪」よりいただき、文字のまわりは真実を映し出す「鏡」をかたどったものと言われています。向台小の子どもたちが「清く、正しく、美しく、健康ですくすく成長してほしい」という願いが込められています。</p>

※参考資料として、「緑野小学校の校章決定の流れ」を配付

■資料「統合新校の校歌の制作方法について」事務局からの説明

1 統合新校の校歌の制作方法について

① 校歌に入れたい歌詞や単語を募集する場合

募集範囲

A 校名募集時と同様の対象とする

桃園小学校・向台小学校の児童・保護者、教職員、地域住民（地域の保育園・幼稚園の保護者、町会）

B 学校関係者のみを対象とする

桃園小学校・向台小学校の児童・保護者、教職員

- ・校歌に入れたい歌詞や単語を統合委員会で選定し、専門家に作詞を依頼
- ・作曲についても別途専門家に依頼

② 校歌に入れたい歌詞や単語を募集しない場合

A 校歌に入れたい歌詞や単語を統合委員会の各委員から出す

- ・次回の統合委員会で、校歌に入れたい歌詞や単語について発表
- ・各委員からの発表後、統合委員会で選定し、専門家に作詞を依頼
- ・作曲についても別途専門家に依頼

B すべて専門家に依頼

- ・依頼先や依頼方法の検討を行う。

2 検討スケジュール（案）

2月：検討方法の協議

4月：募集手続き（歌詞等の募集を行う場合）

4月6日（金）チラシ配布～5月8日（火）までを予定

5月：歌詞等の協議（依頼先、依頼方法の協議・決定）

平成31年1月：校歌決定

(参考：両校の校歌)

桃園小学校 校歌	向台小学校 校歌
<p>作詞 葛原 滋 作曲 小松 耕輔</p>	<p>作詞 勝 承夫 作曲 平井 康三郎</p>
<p>1 朝日もはやき 武蔵大野 野中にさかゆる 中野の町は わが桃園の 歴史もとおく おしえの若木に 培うところ のびよ のびよ 力強く</p>	<p>1 光が降るよ 夢が降る 明るいこの庭 花の庭 あすの日本を にない立つ 元気で楽しい 子供の世界 歌おう われらの 向台</p>
<p>2 都へいそぐ 神田上水 たゆまず流れて ささやく声は ただ一すじに 時をばおしみ 五つのおしえの 花咲かせとぞ のびよ のびよ 力強く</p>	<p>2 目指すは街か 大海か たゆまず流れる 神田川 力合わせる なかよしの われらのゆくても はてなく広い あげよう 栄の名 向台</p>
<p>3 明けくれ仰ぐ 富士の高嶺 真白に清らに いただく雪の 雨にも風にも 真夏の日にも とけぬを尊き 教えと見すや のびよ のびよ 力強く</p>	<p>3 はるかに 富士も 呼んでいる 明るいこの窓 自治の窓 いつもはつらつ のびてゆく 中野は平和な 希望の広場 仰ごう われらの 向台</p>

委員長

今、説明のあった内容について意見・質問等あるか。

委員

校歌の制作はプロに頼むのか。また、何番まで作ってもらうのか。

事務局

校歌の制作については作詞家・作曲家に依頼をしている。両校の卒業生や委員の知り合いの方にそういう方がいれば事務局まで知らせてほしい。作詞家の考え方もあると思うが、何番まで作ってもらいたいと依頼できると思う。

委員

みなみの小学校の校歌は、私の友達が作曲した。とても良い校歌だと思う。

委員長

校章デザイン・校歌の歌詞等を募集することについては如何か。

委員

これまでの統合ではどのようにしていたのか。また募集することのメリットを教えてください

い。

事務局

これまでの統合では、校章デザイン・校歌の歌詞等、全部募集している。なぜ募集するかというと、学校や地域で統合に向けて盛り上がっていきたいということがある。また、校章については最初から専門家に依頼するとかなり高額になるため、手書きであっても基となるデザインがあって、それを修正していく方法をとっている。

委員

了解した。

委員長

それでは、校章デザイン・校歌の歌詞等は、校名を募集した時の範囲で同じく募集するという
ことで良いか。

—異議なし—

委員長

他に、応募用紙やポスターについて何か意見等あるか。

委員

「中野第一」に決定したが、どういう思いが校名に込められているかを応募用紙に記載してもらいたい。校章デザインの際に参考になると思う。

委員

校名募集の時はポスターがA3だったが、町会の掲示板に貼るには大きすぎたのでA4で作ってもらいたい。また、カラーで目立つようにしてもらいたい。

事務局

募集まで時間がまだあるため、応募用紙とポスターについては完成版を委員に送付する。何かあればそれを修正し、4月の募集に使用したい。

委員長

たくさん応募が集まるように、委員からも地域に働きかけてもらいたい。

議事(3)その他

委員長

続いて、第9号の統合委員会ニュースに記載されていた、12月11日に実施された両校の交流事業について報告してもらいたい。

委員

交流事業を見学した。4年生を対象に、理科実験の後、向台小学校の校舎見学を行った。とても和やかでな雰囲気で行われており、幼稚園や保育園が一緒だったという友達がたくさんいたようで、久しぶりだねと楽しそうに話をしていた。このような雰囲気であれば統合後も心配いらな
いなと感じた。校舎見学では向台小学校の児童が引率していて、頼もしく感じた。

委員長

今後も学校の様子について報告してもらいたい。最後に次回の開催日程について、事務局から説明がある。

事務局

次回の日程は、5月中旬で考えている。新年度になったらお知らせする。場所は弥生区民活動センターで行う。

委員長

それでは、時期が近付いたら開催通知を事務局から送付する。その他に何かあるか。ないようであれば、本日の統合委員会はこれをもって終了する。